

地震津波による災害に対する危機管理の将来的な課題とHPCに期待する役割  
Future issues and expected role of HPC to solve them for risk management for earthquake  
and tsunami disaster

牧 紀男<sup>1\*</sup>

Norio Maki<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 京都大学防災研究所

<sup>1</sup>Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

危機管理においては一般に、リスク評価 戦略計画の策定 標準的な危機対応システムの構築 研修・訓練というプロセスを連続して行う体制を整えることが必要である。地震津波による災害を対象とした場合も例外ではなく、わが国においては、災害対策基本法にもとづいて整備されている防災体制が最も包括的なものといえる。ここで重要なことは、リスク評価だけで終わるのではなく、そのリスクに対して、どのように立ち向かうかの戦略、その戦略を実際に形にしていくためのシステムの構築までが含まれているということである。その体制の現状と、今後10～20年にわたる将来的な課題について述べるとともに、課題解決において次世代のハイパフォーマンスコンピュータが果たし得ると期待する役割について議論したい。